

Ⅲ 基本理念と目指す姿および数値目標

(1) 基本理念

「大規模な農業法人や専業農家から小規模農業者まで、すべての農家が活躍できる『農業新時代』」

(2) 目指す姿

「農家全体の所得を最大化」「みんなが生きがいを持てる農業」「ふるさと福井の農村文化を昂揚」

(3) 目指す姿を実現する政策の方向性

○米どころ福井のブランドとスマート農業で所得を増大

本県農業の主力の米については、「いちほまれ」を日本一のブランド米に育て、福井県がおいしいお米の一大産地であることを打ち出し、福井米全体の評価を向上させます。また、早生のハナエチゼン、中生のコシヒカリ、晩生のいちほまれ、あきさかりの作付割合を収穫時期別に最適化し、作業の分散を図ることにより、米の収益を増大させます。

ICTを活用したスマート農業については、自動走行トラクタの導入やドローンによる生育診断、水管理の自動化などの実証を行い、労働時間の3割削減と収量1割アップを目指します。また、多収性のあきさかりについては、3月に種もみを直接田んぼに播種する超早播き直播技術を導入し、耕起、田植え作業を分散することにより、大幅に生産コストを削減し、海外への輸出を拡大します。酒米については、「米、酵母、水」の全てが県産である最高級のふくいオリジナル地酒を商品化するため、平成30年度に開発した新品種「さかほまれ」の生産を拡大します。

大規模法人や認定農業者の後継者を育成するため、市町と連携し、栽培技術や大型機械の操作方法を学ぶ農業人材育成拠点を県内6地域に整備します。

○米と野菜、果樹、花きとの複合経営を進め、所得の増大と働きがいのある新農業を振興

I C Tを活用した大規模施設園芸を嶺南地域に加え全県的に展開し、ミディトマトやフルーツトマトなどの生産を拡大します。また、水田の畑地化や機械化によりネギやタマネギなどの生産を拡大するとともに、広域集出荷貯蔵施設の整備により、出荷期間を拡大し県内を中心に販売していきます。これらにより、農家の所得を増大するとともに、集落の女性や高齢者など様々な人が集落園芸等に参加する働きがいのある農業を推進します。

また、品質や量で他県産と競争できる越のルビーや福井梅などの品目を首都圏や関西圏などに売り込み、高価格で販売します。一方、風土や伝統に育まれた吉川ナスや山内かぶらなど地域限定の品目を、福井で味わうご当地ブランドとして定着させるなど、県内外への両面戦略により、ふくいのお味のブランド化を進めていきます。

こうした野菜、果樹、花きを生産する人材を育成するため、ふくい園芸カレッジを中心とした実践的な研修を実施するとともに、新規就農者と県立大学生との交流を深め、それぞれの知識・技術を高めていきます。

○福井人からインバウンドまで、食と農と美しいふるさと景観のサービスを提供

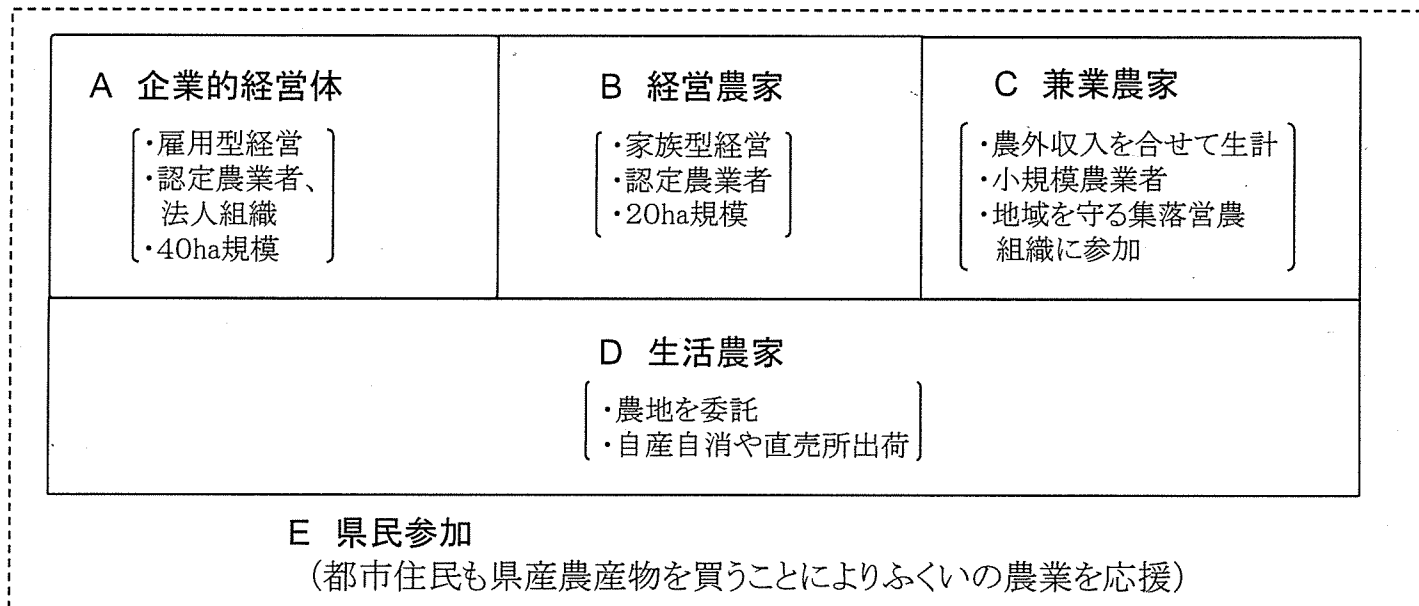
農業の持つ生産・販売という産業の側面だけでなく、景観の保全や地域振興などの多様な側面を伸ばすため、東京オリンピック(2020年)、北陸新幹線敦賀開業(2023年度)、大阪万博(2025年)の好機に、都市と農村の距離が近い福井の特徴を活かして、農村部に人を呼び込みます。

直売所(「ふるさと農の駅」)を拠点として、その周辺にオーナー農園、農家レストラン、農家民宿などの整備や、兼業農家、生活農家による野菜の生産・販売、消費者が一年中収穫体験できるブドウやナシ、ミカン、イチゴなどのくだもの産地の育成を進めます。

また、農村に住む人々の安全・安心な暮らしを確保するため、イノシシやニホンジカの捕獲を強化するとともに、電気柵や金網柵の設置などを推進し、鳥獣害の拡大を防止します。

集落営農に農地を委託した農家の女性や高齢者などが農業を続けられるよう、小規模な農業機械の整備や、直売所向けの野菜の生産を進めるとともに、熟練者の技術を地域内の親子に伝承するグループ菜園の設置などを支援することにより、美しいふるさと景観を次の世代に引き継いでいきます。

(すべての県民が参画、活躍できるふくいの農業農村)



(農家数の現状と目標)

農家区分	面積 (H29)⇒(H35)	経営体数、戸数 (H29)⇒(H35)	産出額 (H29)⇒(H35)
A 企業的経営体	13,357 ⇒ 16,000ha	316 ⇒ 400経営体	172 ⇒ 229億円
B 経営農家	8,914 ⇒ 8,000ha	784 ⇒ 500戸	139 ⇒ 142億円
C 兼業農家	12,966 ⇒ 11,000ha	14,750 ⇒ 13,200 経営体	159 ⇒ 154億円
D 生活農家	763 ⇒ 1,000ha	13,960 ⇒ 15,700戸	13 ⇒ 15億円
E 県民参加	—	29万戸(全県民)	—
合計	36,000 ⇒ 36,000ha	29,810 ⇒ 29,800 戸・経営体	483 ⇒ 540億円

(3) 数値目標	(H29年度)	(H35年度)
○ 米産出額	310億円	⇒ 320億円
○ 園芸産出額	173億円	⇒ 220億円
○ 輸出額	8億円	⇒ 20億円
○ スマート農業を導入する経営体	—	⇒ 40経営体
○ 新規就農者		500人(5年間) (90人/年 ⇒ 100人/年)
○ 交流人口	85万人	⇒ 170万人
○ 直売所販売額	35億円	⇒ 45億円